



クラスの様子【10月号】



ひよこ・りすぐみ 今月の目標

『自然に触れながら、散歩をしたり、運動遊びを通して、体作りをする。』

9月。中学生の職場体験のお兄ちゃん、お姉ちゃんがお部屋に入り、沢山遊んでくれました。ちょっぴり人見知りをしてしまう子もいましたが、一緒に過ごした時間は、いい経験になったのではないかと思います。また、9月の前半はまだ暑い日が多く、水遊びや室内遊びをしました。8月から引き続き、水遊びを楽しんだ後、衣服の着脱や身辺整理に意欲を見せる子や、室内遊びでは、パズル等を集中して取りくみ、完成すると満足そうにする子もいました。好きな事を通し、自分でしようという気持ちが育ち、頑張る力になっているように思います。中旬になると、少しずつ暑さもやわらぎ、お散歩や、戸外遊びが出来る日が増えてきました。お散歩では、おともだちと上手に手を繋いで歩き、お喋りをしながら秋探しをしました。自然物に興味津々の子どもたちは、草花や木の実を見たり、触れたり、虫の声に耳をすましていました。今、お部屋で、秋にちなんだ歌もうたっているのも、『どんぐり』には特に関心があり、早く落ちてこないかと待ち遠しいようでした。これからも、体調に気を付けながら、秋を感じる活動を楽しむとともに、戸外に出る機会が増える事で、靴を履く機会が多くなります。子どもたちの自分で履きたいという気持ちを大切に見守っていきたいです。ひよこぐみの子どもたちも、立っちや伝い歩きをしていた子が、一人で少しずつ歩くことが出来るようになってきました。秋を感じられる楽しい時間を過ごしていきたいと思います。(伊達)



うさぎぐみ 今月の目標

『秋の自然に触れながらいろいろな活動を楽しむ』

今年は9月中旬まで猛暑が続き水遊びやプール遊びを楽しみました。幼児棟のプールにも入り「こんなんできるよ」と嬉しそうにカニ歩き、仰向けになって泳いだりしている姿をみて成長を感じました。また園庭にいくとダンゴムシからバッタ、コオロギ、ヤモリ、カナヘビなどを見つけて少しの時期だけ飼育しました。「ヤモリさん、遊ぶところがいない」と飼育箱の中に保育士と一緒にトイレットペーパーの芯を貼ってトンネルを作ったり、「喉が渴いてないかな？」とペットボトルの蓋に水を入れて置いたり子ども達からいろんな疑問を聞くことができました。このように少しの間ですが飼育することで命の大切さや自分の思っていることも伝えたり考えたりする経験は大事だと思いました。興味のなかった子も「私も捕まえない」という子もいました。秋の自然と触れ合い、たくさんの経験をしながらいろいろな事を楽しみ、学んでいくと欲しいと思います。(石田)



以上児 今月の目標

『心地の良い気候の中、秋の自然に触れたり身体を動かして遊ぶ事を楽しむ。』

朝夕の風が心地よく、ようやく秋の訪れを感じられるようになりました。先月は中学生がインターンシップに来てくれて、子ども達と一緒に4日間過ごしてくれました。普段は保育士に甘える姿をあまり見せない子が、お兄さんお姉さんには自然に関わり合いにいたり甘えたりと、子ども達の新しい一面を知る事が出来ました。最終日には中学生が得意な事を披露してくれて、その中でもペットボトルフリップは「僕達もやってみたい」とゾーンに取り入れると、こあら組からいおん組の子まで挑戦し、成功したら友だちと喜び合う姿がありました。こうして様々な人との関わりの中で刺激を受け、少しずつ社会性を育んでいければと思います。

敬老の日に向けてのハガキ製作では、お守り、お花づくりに取り組みました。お守りはストロースタンプ、フィンガーペイント、デカルコマニーの3つから好きな技法を選び、お花づくりでは、一回切り、連続切り、湾曲切りの習熟度別に取り組み、心のこもった作品に仕上がりました。友だちの作品を見ながら「やっぱりこっちにしようかな」と作るだけでなく、迷ったり考えたりしながらも一生懸命に選択していく子ども達！日々の生活の中で自分で選ぶ経験を重ねる事で、自己決定する力につながっていくといいなと思います。

月末に行われたライオン組の大イベントお泊り保育でも、翌日の朝食や飲み物、駄菓子屋さんでの買い物は自分で選んだり決めたりする楽しさを体験しました。夕食のメニューは3種類の定食の中からみんなで一つの定食を選ばないといけなかった為、一人ひとりの思いを大事にしながら意見を出し合い時間をかけて決めました。話し合いの中では、「そうそう！」と同意するだけでなく、「でもさ！」と違う意見を提案する子もいて、人と意見が違って良いことやみんなで納得できるように決める話し合いの大切さを学ぶ事が出来ました。又県民の森でのアスレチックや夜に懐中電灯を使った光アートの実験等、普段の園での生活とは違った環境での体験を楽しむことが出来ました。お家の人と離れて身の回りの事を自分で行ったり友だちと協力し合ってお当番の役割をこなせたのは、子ども達にとってこれからの大きな自信になるかと思います。そして、お父さんお母さんからのサプライズのメッセージに感動して涙を流す子もいて家族の愛情を改めて感じる、心に残る素敵な思い出となりました。(坂)

